インフルエンザ・コロナウィルス感染症等に関わる対応について

第51回関東中学校陸上競技大会実行委員会

1 インフルエンザの主な症状について
・発熱（38℃以上） ・関節の痛み ・筋肉痛 ・喉の痛み ・頭痛 ・全身の倦怠感 ・鼻水（鼻汁）または鼻づまり ・咳 など

2 コロナウイルス感染症の主な症状について
・発熱・鼻水・喉の痛み・せきなどの呼吸器症状・嗅覚異常や味覚異常 など

3 予防措置
・うがいの励行 ・手洗いの励行 ・アルコールによる手指消毒 ・使い捨てマスク
・人ごみを避ける ・健康管理、健康状態の観察（チェック）
※ 大会会場入り口等に手指の消毒薬を設置する。学校・団体及び個人（参加者）の責任において、うがい、手洗い、マスクの着用、アルコール消毒など予防に努める。又、監督、引率等の責任において健康観察記録により参加選手等の健康観察を行い記録する。ただし、健康観察記録表等の提出はしない。

4 受診
健康観察により、上記1・2のような症状が確認された場合は、直ちに医療機関（指定病院）にて受診し、実行委員会に口頭で受診報告を行う。

5 報告（大会本部等）
大会前後、大会期間中において医療機関受診又は検査キット等で感染を確認した場合は、都県代表監督を通じて実行委員会に報告する。

6 二次感染予防措置（蔓延を防ぐ）
・感染者及び発病者について （大会の参加については、不参加とする。）
医療機関での診察、治療。関係機関の指導を受け、入院、帰宅等の措置をする。（この際、監督、引率者等は、保護者、学校・団体等に連絡する）監督、引率者等は、都県代表監督を通じて実行委員会に報告する。
・濃厚接触者（感染の恐れのある者含む）について
大会への出場については、状況を再確認し、参加各学校・団体の責任者の責任と判断に委ねる。ただし、決して無理はさせない配慮をする。
・二次感染の対応については、医療機関、行政（教育委員会）、保健所、実行委員会等で確認、指示、指導の徹底を図る。
・学校閉鎖、学級閉鎖等の状況にある大会参加校・選手については、状況を正確に把握するために、健康観察などを実施し、得られた情報を踏まえ、当該中学校が医療機関、教育委員会等と慎重に審議し、チーム・選手の参加を決定する。

7 報道対応
・窓口の一本化を図る。（大会実行委員会）
・学校名等、公表内容については、当該校・団体の代表者の承認と承諾を得る。
・あくまでも発生状況により適切に対応する。
・関係諸機関（教育委員会、関東中学校体育連盟、茨城県中学校体育連盟、競技団体、実行委員会、関東陸上競技専門部等）との連携は蜜にする。

8 ノロウィルス等の心配もあるが、併せて、同様の配慮をする。

9 その他
（1）大会に参加する以前の対応については、各教育委員会、参加各学校・団体の配慮に委ねる。
（2）不参加の報告があった場合の補充の大会出場について（団体出場と個人出場があるが）
・大会申込み前
補充については、都県陸上競技専門部に一任する。
・大会申込み後
選手変更については、8月7日（月）の最終打合せまでとする。ただし、氏名・所属等をプログラム、ランキング表へ反映することはできない。